



鹿沼の犯罪防止へ 関連グッズを贈る

五月女グループ

【鹿沼】アミューズメント施設などを展開する五月女グループ(栃木市川原田町)の五月女博勇代表(75)はこのほど、鹿沼署を訪れ、防犯ステッカー1500枚を市防犯協会に寄贈した。署は感謝状を贈った。写真。五月女代表が市防犯協会長の佐藤信市長に目録を手

渡し、谷島義則署長が五月女代表に感謝状を授与した。ステッカーは「みまもり活動実施中」と書かれ縦8センチ、横20センチの大きさ。同協会や鹿沼署管内の協力団体などに事業用車両への添付を呼び掛け、防犯に役立つる予定だ。

同グループは例年この時期に社会貢献活動として、特殊詐欺防止を呼び掛ける懸垂幕やポーチなどのグッズを寄贈。昨年は自転車用ワイヤロック2千個を寄付、署によると市内の自転車盗の被害は2017年の91件から昨年は58件に減少したという。

五月女代表は「市内の犯罪防止のために役立ちたい。今後も続けていきたい」と話した。